

## 各支部事業の紹介

利賀  
支部

### 利賀そばまつり開催



今年も「利賀そばまつり」が、2月12日から14日まで開催された。会場内には、地元住民や各種団体・企業や自衛隊が協力し、1ヶ月余りかけて製作された高さ8mを超える雪像が並び、多くの人に感動を与えた。

雪のステージでは、郷土芸能やよさこいなどが披露され、手打そば、五平餅、岩魚の塩焼き、山菜おやきほか、市内から地ビール、豆腐の加工品などが販売され、多彩な催しとともに楽しんだ。

また、特産コーナーや体験コーナーでもそば打ち、「かんじき」を履いての歩行、木工クラフト体験など、雪国の暮らしと食文化に触れることができた。

メインイベントの花火は、張り詰めた冷気の中、音楽と共に打ち上げられ、際立った鮮やかさは特別に行われた人前結婚式と併せ、訪れた観客を感動させた。

今年は、特に名古屋からの観光客がたくさん訪れ、口々にこんな大きな雪像があるとは思ってもみなかった。また来てみたいとの声が聞かれた。

井口  
支部

### いのくち椿まつり 開催 3/27~28



20回目を迎えた「いのくち椿まつり」は、当時の井口村商工会が「村おこし事業」の中で、立ち上げに係わった。

小さな村の大きな夢「日本一の椿村」を目指し、「井口といえば椿、椿といえば井口」といわれるまで成長を遂げ、昨年は全国椿サミットが開催され、さらに全国に名を知られることになった。

今回は、「雪椿」をテーマに、椿の生態や群生地の紹介、鉢や切花の展示ほか、椿にこだわった体験コーナー、椿グッズ、地元の物産販売などを行い、椿ファン・井口ファンを楽しませた。

井波  
支部

井波  
支部

アイスフェス

福光  
支部

四季の五箇山～雪あかり～

五箇山  
支部

つごもり大市

城端  
支部

つごもり大市

## ◆新就職者激励会

日 時 4月28日(水) 午後1時30分

場 所 福光中央会館(JR福光駅前)

講 師 キュア株

代表取締役 山本 宗司 氏(富山県出身)

テ マ 「世界を変える仕事術」

## ◆日本政策金融公庫 利率変更のお知らせ

### 設備資金貸付利率特例制度

経営改善貸付・普通貸付・特別貸付・生活衛生貸付の設備資金は定められた利率から**0.5%**が2年間低減されます。

**セーフティネット貸付** 基準利率から**-0.2%**

\*融資のお申込、ご相談は南砺市商工会へ

## ◆社会保険料の利率変更

健康保険料率が変わりました。

現 行

8.19%

平成22年3月分(4月納付分)から

**9.31%**

## ◆建設労働者緊急雇用確保助成金について

～建設労働者の雇用安定に取り組む事業主を支援します～

### ○建設業新分野教育訓練助成金

対象：雇用保険適用事業所の中小建設事業主

要件：①建設事業以外の事業を新たに開始すること。  
②新分野に従事させるため、必要な教育訓練を有給で行うこと。  
③教育訓練の対象者は、訓練開始前1年間以上継続して雇用され、訓練終了後、引き続き雇用されること。

支給額：①教育訓練に要した経費の2/3  
(1日20万円、限度60日分)  
②訓練を受けた労働者1人日額7,000円  
(上限60日分)  
①と②の合計額を支給

### ○建設業離職者雇用開発助成金

対象：雇用保険適用事業所で建設業を営んでいない事業主

要件：①45歳以上60歳未満の建設業離職者を公共職業安定所等の紹介により、継続して雇用すること。  
②資本金、資金、人事等からみて建設業離職者を雇用していた事業主と密接な関係がない事業主であること。

支給額：建設業離職者の雇入れ1人につき、事業主の規模に応じて、雇入れから6ヶ月経過後及び1年経過後に半額づつ支給。

企業規模	6か月後	1年後	合 計
中小企業事業主	45万	45万	90万
上記以外の事業主	25万	25万	50万

\*詳細については、最寄りの労働局又はハローワークへお問合せ下さい。

## 南砺市商工会報

Commerce and industry association NANTO CITY



# 南砺市商工会報

No. 6

平成22年  
4月1日発行

■編集/発行 南砺市商工会

富山県南砺市福光7336-4 TEL 0763-52-2038 FAX 0763-52-6425



## 新春特別講演会

2月18日(木) 午後6時から福光中央会館に於いて、金融協会並びに富山銀行の協力を得て、新春特別講演会を開催し、講師の日本銀行金沢支店長味岡桂三氏と㈱富山銀行取締役頭取齊藤栄吉氏より、景気の現状と2010年の展望等について講演があり、約300名が聴講した。

## 新入会員名簿

平成22年3月19日現在

事 業 所 名	代 表 者	住 所	業 種	地 区
チエリー	高 桑 可津子	南砺市福光762-7	飲 食 業	福 光
曳き家 七山	七 山 裕 之	南砺市小院瀬見156	建 築 土 木 業	福 光
ライブラウンジ ムクムク	泉 川 和 也	南砺市福光7477-4	飲 食 業	福 光
大井川板金	大井川 政 昭	南砺市梅原8700	板 金 工 事 業	福 光
鮓とら	志 賀 正 和	南砺市遊部750	飲 食 業	福 光
RIM プラセス ホクエイ	妹 尾 寿 幸	南砺市下吉江143-1	塑 施 工 加 工 業	福 光
北陸外装株	堀 元 健 朗	南砺市安居283	建 設 業	福 野
林商店	林 良 夫	南砺市福野1792	青 果 物 卸 売 業	福 野
(農)となみ野自然食品組合	高 瀬 敏 子	南砺市二日町2207	食 品 加 工 業	福 野
	鷹 野 史 治	南砺市福野1852	ハ ブ スクリーニング業	福 野
NPO法人 ふくのスポーツクラブ	大 西 清 征	南砺市寺家321-1	施 設 管 理 運 営	福 野
ナントオアシス	伊 東 徹 也	南砺市坪野413-4	靴 下 敷 製 造 業	福 野
ふくの産地直売所運営協議会	翠 清 彦	南砺市軸屋23-4	農 產 物 販 売 業	福 野
第一トラスト株	釈 永 一 男	南砺市高堀8	足 場 組 立 ・ 解 体 業	福 野
(有)エス・ティ・ケー	干 上 友 久	南砺市福野1330-7	工 作 機 械 組 立 業	福 野
学校法人 福野青葉幼稚園	木 俣 修	南砺市福野1071	幼 稚 園	福 野
㈱みたに商会	三 谷 尚 敏	南砺市山見979-1	飲 食 業	井 波
菅沼世界遺産保存組合	北 博 通	南砺市菅沼字苗島587	施 設 ・ 駐 車 場 管 理	五 箇 山

## 経営革新認定事例紹介

### ~モータースポーツカルチャーの提案~

#### ワイズモトスポーツ

南砺市新邸7-4 ☎0763-22-6368

◆代表 門永 哲也 ◆業種 オートバイ販売修理



#### 経営革新の内容

当社は、平成17年に創業し、特にトライアル競技専用のオートバイ販売店として営業してきた。トライアルとは、岩場や斜面の難コースを制限時間内に足をつかずに通過する競技で、オートバイの中でもかなり趣向性が高く、マーケットは決して大きくない。

そんな中で、売上を伸ばしてこられたのは、事業主自らトライアル競技の選手として参加し、走る広告塔になってきたことと全国を転戦した経験からマシンに対する知識をユーザーに伝えることができたからである。平成18年のシーズン終了後に現役を引退し、現役時代ライダ



#### 経営革新に取り組んで

経営革新は、設立当初に地元商工会へ資金の相談に伺った折、県の認定を受けることや各種施策の紹介を受けたことは、事業をしていく上でメリットが大きかったと思う。

当初は、現在地での営業に多少の不安もあったが、現代の流通、情報ネットワークを持ってすれば、日本海側であることのデメリットはほぼ無きに等しいと感じている。

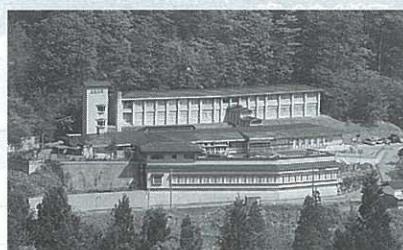
### ~地域資源を活用し観光拠点に~

#### 株式会社 長田組

南砺市大島104 ☎0763-66-2416

◆代表 長田 一政 ◆業種 総合建設業

五箇山温泉 五箇山荘  
南砺市田向333-1  
TEL 0763-66-2316  
FAX 0763-66-2717  
<http://www.gokasansou.com>



#### 経営革新の内容

昨年4月から、南砺市より「五箇山荘」の指定管理者となり、施設の管理・運営を引き受けている。

世界遺産の五箇山合掌集落や東海北陸自動車道の開通により、当地への観光客は増えているが、必ずしも宿泊客の増加につながっていない。当館の存在を県内外に積極的にアピールし、利用客の誘致拡大をめざしている。

地元と連携し、地域資源の「麦屋節」「こきりこ」な



#### 五箇山地域の振興に貢献

五箇山の知名度が上がり、交通アクセスも便利になったが、一方でストロー現象があることも否めない。

五箇山荘は、地元で最も収容力(82名)のある宿泊施設として、世界遺産の相倉や菅沼の両合掌集落をはじめ、観光にも格好の位置にある。

当館から五箇山の歴史、文化を広く発信し、宿泊や冬期の入込増に起爆剤となる。就業機会が増えれば地域全体の振興に繋がり、地元密着型の新しい取り組みに期待が集まっている。

## 創業支援事例紹介

### ~利賀そばの魅力をより多くの人に~

#### 利賀そば なかじま屋

南砺市二日町 ☎0763-22-7115

◆代表 中島 信隆 ◆業種 飲食業



◆創業の動機 より多くの人に利賀のそばを味わっていただきたいこと、なかなか利賀村まで足を運んでも来れない方のために、市内(旧福野町)にお店を出すこととした。

◆店の名前 「利賀そば なかじま屋」福野店と命名、お客さまに愛されるお店となるよう願っている。

◆経験等 30歳で出身地の利賀村で開業。その後、富山岩瀬店を3年間併業。50歳になり、今回が3度目のチャレンジとなる。

◆家族の理解 家族全員の協力で運営している。健康に気を付け、切り盛りしたい。

◆創業までの経緯 知人からの情報と、東海北陸自動車道の開通後、利賀村の観光客が減少し、閉塞感が漂う中、なんとかしなくてはと思い決断した。

◆セールスポイント 自ら石臼で挽き、手打ちした香りの良いそば本来の美味しさが自慢。昼の部は、リーズナブルなワンコインメニューを提供。トッピング用の天ぷらにも白海老や野菜・豆腐など多彩に揃えており、名物の「そば茶ブリオン」がお薦め。

夜の部は、そば、そばがき、豆腐ステーキなどの「そば会席」、そば、豆腐などの一品料理ほか、南砺の地酒をはじめ、こだわりのお酒やワインが並び、アットホームな情報発信の場として、喜ばれている。

#### ◆その他

～お店の心～  
定休日 毎週日曜日  
お客様に感謝  
営業時間 昼の部11:00～14:00  
お客様に貢献  
夜の部17:00～22:00  
お客様にやすらぎ

南砺市の空き店舗対策支援事業を活用。商店街を活性化し、賑わい創出に一役買いたい。市や商工会の支援、友人・知人からの励ましなど、数多くの人々に支えられたことが今回出店する力となった。

今後は、地域に美味しいで貢献できるお店をめざし、地元のそばや豆腐を含め、「利賀そば」のスタイルを変えることなく、今後もそばの魅力を発信していきたいと語る。

### ~地場の素材でくつろぎのイタリア料理を~

#### イタリアンレストラン「トラットリア ミッレ・プリマヴェーラ」

南砺市山見979-1 ☎0763-82-5710

◆代表 三谷 尚敏 ◆業種 飲食業



◆創業の動機 イタリアのヴェネト州で食べた田舎料理のレストランをいつかはと思い続けていた。

◆店の名前 妻の名前「千春」を直訳したイタリア語。Mille PRIMAVERA(千の春)から名付けた。

◆経験等 東京で修行後、富山市内のレストランで料理長を経験し、1年前に独立。

◆家族の理解 妻をはじめ、祖父母・父母と家族中の応援を受け、開店の準備を進めてきた。美容業の妻とは、互いに健康に気を付け、分野は違うけど共に頑張ろうと励ましあっている。

◆創業までの経緯 東京都八王子に生まれ、井波出身の奥さまとの結婚を機に県内へ移り、準備期間を経て現在に至る。

#### ◆セールスポイント

店内は古民家の「ワクノウチ」を再利用し、木材をふんだんに使用。入口のドアには透かし彫りの「井波彫刻」をはめ込み、木彫の町「井波」ならではの特徴が活かされている。食材も地元産の野菜や城端ボーグなど、地元の素材にこだわり、イタリア・ヴェネト州の郷土料理を参考に、ゆったりとくつろげる雰囲気のお店をめざしている。

#### ◆その他

定休日 毎週月曜日・第3火曜日  
ランチタイム 11:30～15:30  
ディナータイム 18:00～

創業に向け、商工会の創業講座を受講し、経営、税務、資金繰りなどの勉強やブログ仲間から寄せられた応援などが大変有り難かった。

今後も南砺の契約農家や農産物直売場から仕入れた野菜や肉など地場の素材本来の味を活かし、気軽にゆったりと味わえるお店にしたいと張り切っている。

まだまだ南砺の食文化にも詳しくない32歳の未熟な者ですが、さらに勉強し、南砺の魅力を発信していきたい。



## 青年部事業報告

3月19日・20日に青年部員20名が参加し、大阪・神戸の視察研修を行った。2日間で4か所の視察という厳しいスケジュールではあったが、参加者はしっかりと説明を聞いたり、質問をしたり、阪南市商工会青年部との意見交換なども積極的に取り組み、有意義な視察研修になったと感じている。

また、南砺市商工会青年部全体で実施した初めての事業でもあり、この研修で部員間の交流を大いに深めることができたと感じている。今回の研修で経験したことや学んだことなどを今後の青年部活動に活かしたい。

### 1日目



天神橋三丁目振興組合で土居年樹理事長にまちづくりの極意を伺う

### 2日目



長田神社前商店会でイベントの仕掛け方を学ぶ(どのようにイベントを盛り上げるかなど)

人と防災未来センターを視察し、阪神淡路大震災について当時の状況を知る、そして、今後の私達の街について考える機会になった。

## 女性部事業報告

### 女性部合併記念事業

## 柴田理恵講演会

1月22日(金) 午後2時  
じょうはな座

合併記念として、女性部による女性部員のための講演会を開催したところ、部員の65%に当たる270名が参加し、盛大に開催することができた。

研修委員会で、合併記念に相応しい講師として、本県出身の柴田理恵さんの声が上がり、念すれば通ずて部員の思いは大きなラブコールとなって伝わり、今をときめく柴田さんの講演会が実現した。

当日は、前日までの雪が嘘のように晴れ渡り、会場のじょうはな座は1階席が満杯となった。そして、何といっても講演内容（お母さんの話やワハハ本舗の話…etc）が良かった。

評価は人それぞれであり、改善の余地はあると思うが、様々な意見はそれだけこの事業や女性部への関心の高さと受け止めている。

今回、単なる講演会で終えるのではなく、いかに柴田さんに南砺市への関心を持ってもらえるか、部員に意気込みを感じてもらえるかをテーマに、女性部では次の2つのプライズを考えた。

①「理恵さんの巨大似顔絵」



「ふくみつ雪あかり祭り」のノウハウを活かし、各支部から部員が公民館に集り、線をなぞり色付け作業を僅か1晩で仕上げた。似顔絵の周りには、南砺の特産品や祭などを描き、市の一体感を表現した。

また、じょうはな座のステージに似顔絵がスムーズに降りてくるよう何度も試し、当日スルスルと降りてきたときは思わず全員が拍手喝采。

理恵さんも巨大似顔絵にはビックリした様子で、誕生日プレゼントに南砺市在住の漫画家 森みちこさんの原画を贈り、とても喜ばれた。また、巨大似顔絵は今年の「雪あかり祭り」で、紙風船にして大空へ見事に船出した。

②「理恵さんとのツーショット写真」

チケットのNoで抽選を行い、後日大きく引き伸ばして部員にプレゼントし、思いがけない舞台でのツーショットや身近に言葉を交わし、部員から大変喜ばれた。

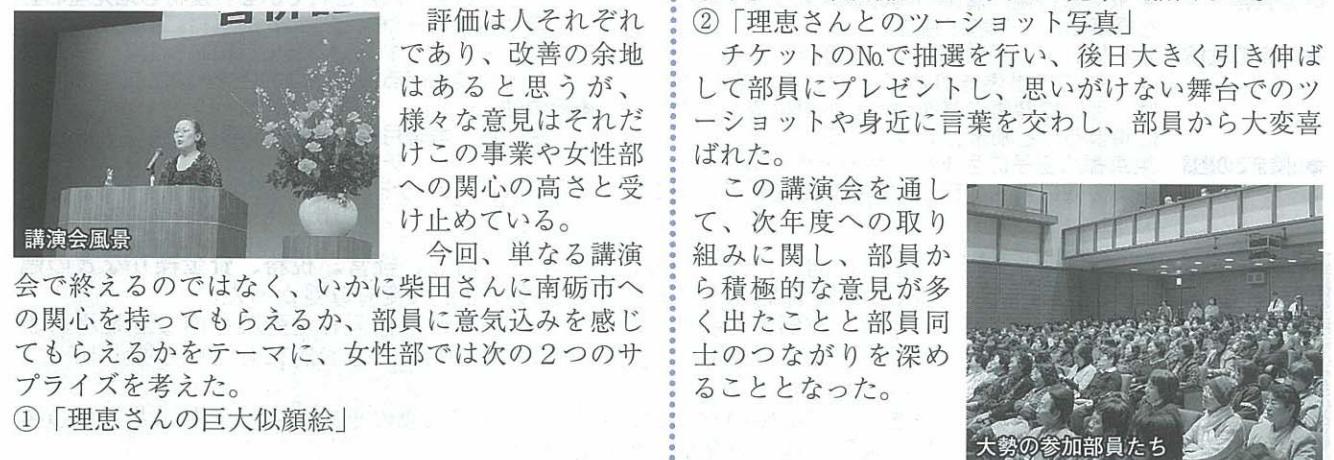
この講演会を通して、次年度への取り組みに関し、部員から積極的な意見が多く出たことと部員同士のつながりを深めることとなった。



講演会風景

この講演会を通して、次年度への取り組みに関し、部員から積極的な意見が多く出たことと部員同士のつながりを深めることとなった。

①「理恵さんの巨大似顔絵」



## 同友会全体研修会＆交流会

2月2日(火) 於：志ようず

講師：実践総合研究所 所長：小倉 徳彦 氏

南砺市商工会員を対象に、全体研修＆全体交流会を井波で行った。講師の小倉徳彦氏より「元気の出る企業経営」をテーマにお話を伺った。

内容は、経営上大切なことは情報の入手ができるか、他力の活用ができるか、自社の強みを見出しているかの3点が挙げられた。

情報は、財産・力であり、それを持つと持たないとでは大きな差がある。情報も表の情報だけでなく、裏の情報を探し出す観察力が経営者には必要。

他力の活用として、異業種のノウハウを利用することが大切。異業種交流は、単なる意見交換や宴会をすることではない。自社の強みを知り、それに他社の資源を組み合わせる能力が大切である。

など、様々な事例をもとにした講演は、経営者としての方向性を探る上で、大変参考になった。



◀講演会

▼交流会



## 経営指導員等交流研修報告

南砺市商工会 経営指導員 山田 哲雄

2月18日(木)～19日(金)まで、宮田村商工会(長野県)、南アルプス市商工会(山梨県)を訪ね、結果について次のとおり報告いたします。

### 宮田村商工会 自己財源確保に向けて

#### ●自立した商工会

平成12年に、商工会の変革を目的にアクションプランが発表され、商工会事業の柱である経営改善普及事業と地域総合振興事業に収益事業が加えられた。

宮田村商工会では、収益事業を柱の一つと捉え、商業者と地域のためになる事業として、宮田ビジネス学院を開校した。

学院は、近隣市町村の学生や主婦など、一般市民も受講でき、これまでに数多くの受講者を輩出。

今では、簿記・社労士・宅建・看護士ほか、国県の職業訓練事業も受託し、20年4月からは2年間の長期コース(受講料168万円)を開講し、7名が受講中と聞く。

これらは、補助金削減対策と思われがちだが、一番の狙いは商工会の自立にある。

当ビジネス学院校長を兼務する湯沢経営指導員は、「合併の話は何度もあったが、合併しなくてもやっていける商工会を作らなければ、合併しても意味がない。その上で合併するかどうかは会員が決めるべき」と話された。

#### ●自立した商工会青年部

会員269名のうち、19%に当たる51名が青年部に加入(南砺市は9%)しており、年間170回を超える例会や委員会を開催し、自分達で企画から手配・実行・反省までが完結している。事務局の仕事といえば、会計の補完業務と会議資料の保管程度。会議の資料も青年部の各委員会や部会等担当者が作成し、必要な部数を印刷。自分で作成した資料なので、出席者からの質問にも即対応できる。

また、行政への補助金申請や事業報告、講師の折衝等も自分達で行う。全て部の顔を表に出してやっているので、青年部を卒業後も行政からの信頼、地域住民からの期待は家業にも結び付く。

青年部は、正に宮田村の牽引力であり、青年部OBの商工会員や役員は、今でも商品券の整理やイベント準備等、親会の事業に協力を惜しまない人が多いそうだ。青年部活動で培った経験は経営者としての資質を磨くとともに、地域貢献の両方に役立っているように感じた。

### 南アルプス市商工会 組織改革について

#### ●商工会の組織改革

平成15年4月の行政合併と同時に、山梨県最大級の南アルプス市商工会が誕生した。合併時の組織は1本所、5支所で、3年後の見直しを条件にスタートし、平成18年度から1本所、2センターとなつた。

北部センター内に記帳センターを置き、北部・南部両センターの記帳業務を集約。また、新たに指定管理者課を設け、農商工連携の先駆けとして、農の駅「ハッピーパーク」の指定管理を受け、自己財源確保と地域資源活用に取り組んでいる。

その後も組織改革を進め、平成22年4月から1本所(指定管理施設を除く)に統合。合併当時からチームワークとスピードを重視してきた塩谷事務局長は、「水は上から下へ素早く流れるが、横への広がりは非常に遅い。早く一つの商工会として機能するべき。」と話された。

#### ●部会活動の改革

一般的に商工会の部会活動は、商業・工業・観光などの大きな括りで区分されるが、当会では21年度から業種別に事務局機能が備わっていることを条件に、使途自由な活動助成金を支払うこととした。細分化することで、各組合等で必要とされる事業や講演会などを自由に開催でき、活動助成金の有効利用にも繋がっている。

また、同時に事業報告書の提出や組合員名簿の提出を義務化した。職員は、提出された名簿から未加入事業所を抽出して商工会への加入促進に活かしており、各組合長にも加入促進の協力を求め、新規加入があれば、組合へ募集奨励金を支払っている。

また、商工会加入推進員を採用し、常に会員の募集に努め、南アルプス市商工会の組織率は合併前の66.4%から72.7%と飛躍的にアップしているとのことであった。